

# 介護保険 介護保険料が変わります

3年ごとに見直される介護保険。  
4月から、65歳以上の人の介護保険料が変わります。

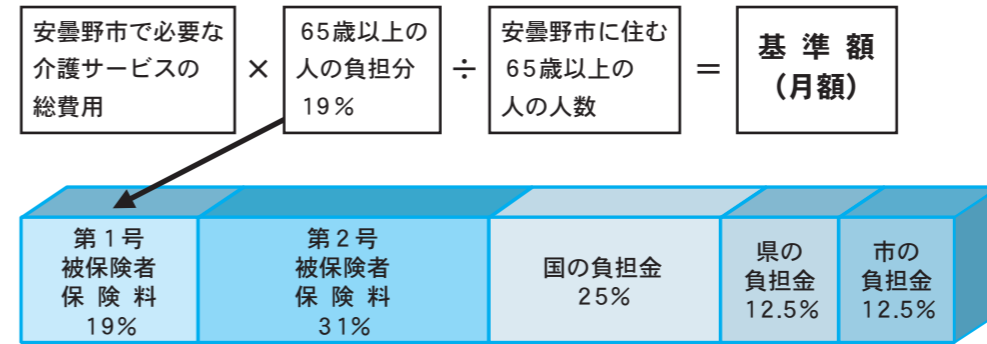
介護保険制度は、介護が必要になった人が、住み慣れた地域で、安心して自立した生活を送れるように介護が必要な人とその家族とを、社会全体で支えていこうという制度です。一人ひとりの保険料は、介護保険の大切な財源です。皆様のご理解とご協力をお願いします。

## 平成18年度介護保険料は

介護保険のサービスに欠かすことのできない保険料は、今後3年間で、どのような介護サービスがどれくらい必要となるか判断して3年ごとに見直されます。

平成18年度から20年度の介護サービス給付費見込みに基づいて、保険料の基準額を試算し、介護保険料を決定します。今回の改正による安曇野市の基準額は、年額46,920円(月額では3,910円)になりました。この保険料については、市議会3月定例会で審議されます。詳細は、次回の広報(4月6日発行)でお知らせする予定です。

### ◆保険料の決まり方～基準額はこのようにして算出されます～



## 環境

# 循環型社会を目指して

生ごみや間伐材、家畜の排せつ物などを利用した新エネルギーの導入に向けた委員会がスタート。

第1回三郷地域バイオマスタウン推進委員会が2月27日、三郷総合支所で開かれました。

この委員会は、旧三郷村が昨年5月に策定した「バイオマスタウン構想」の推進と検討を行います。会長には西山積司助役が、副会長には三郷農業振興公社副社長の中島信男さんが選任されました。バイオマスとは、再生可能な生



三郷たい肥センター内

物由来の有機性資源で、生ごみ、家畜の排せつ物、間伐材、食品廃棄物などです。生物体から得られる自然界の循環型エネルギーを「バイオマスエネルギー」と言い、化石燃料による環境への影響や資源の枯渇が心配される今、注目を集めています。

三郷地域では、合併前からバイオマスエネルギーの導入を検討してきました。構想では、生ごみをたい肥化することで、ごみの減量化を図るほか、間伐材などを有効利用することで、農林業の活性化や荒廃が進む山林の保護などにもつながるものと期待されています。

生ごみのたい肥化については、昨年11月に生ごみたい肥化推進委員会を立ち上げ、具体的な方法について検討がされ、18年度から三郷地域内のモデル地区で生ごみの収集運搬処理を実験的に開始する予定です。

### ■生活雑排水の汚水・汚泥くみ取り料金

合併に伴い、一般家庭のくみ取り料金助成制度が統一になります。

簡易浄化槽の容量	くみ取り料金(個人負担額)	
	料金助成区域	下水道等供用済区域
150ℓ以下	630円	1,680円
150ℓ以上 250ℓ以下	945円	2,520円
250ℓ以上	250ℓまでの料金の250ℓから10ℓ増すごとに84円を加算した額	

※料金は消費税を含んでいます。  
※算出料金の10円未満の端数金額が生じた場合、端数金額は切り捨てとなります。

料金助成区域… 下水道等供用済区域を除く区域のことです。市が下水道等供用済区域の料金との差額分(1,050円または1,575円)を助成します。

### ■し尿のくみ取り料金

合併に伴い、くみ取り料金が下記のとおりになります。

下水道等供用済区域	10ℓ当たり88円
上記以外の区域	10ℓ当たり78円

※料金は、消費税を含んでいます。  
※算出料金の10円未満の端数金額が生じた場合、端数金額は切り捨てとなります。

下水道等供用済区域… 公共下水道及び農業集落排水施設の供用が開始されてから3年が経過した区域のことです。

4月からし尿・生活雑排水のくみ取り料金が一部変わります。

# くみ取り料金が変わります

## し尿・生活雑排水

### ■問い合わせ

穂高健康支援センター内  
高齢者介護課介護保険係  
(TEL 81・1636)